

西尾市まち・ひと・しごと創生  
総合戦略

総合戦略に基づく  
施策の取組状況  
(平成 29 年度)

## I 西尾市の人口動態

### 1. 推計人口

平成 28 年 10 月 1 日現在の西尾市の人口は 168,743 人で、1 年前と比べて 753 人増加した。

	H 2 2 年	H 2 7 年	H 2 8 年	前年比	備考
総人口	165,298	167,990	168,743	753	10月1日現在
0～14 歳	24,617	24,236	24,188	▲48	
15～64 歳	105,941	103,106	102,913	▲193	
65 歳以上	34,561	40,211	41,205	994	
不詳	179	437	437	0	

出典：H22 年と H27 年は国勢調査(確定値)。H28 年は H27 国勢調査確定値を基準値とする推計人口  
(愛知県人口動向調査)

### 2. 自然動態

平成 28 年の自然動態は、出生児数が 1,470 人、死亡者数が 1,555 人となり、85 人の減少となった。

出生数は、前年より 47 人増加し、死亡数は 66 人減少した。

		H 2 7 年	H 2 8 年	前年比	備考
自然動態	出生	1,423	1,470	47	10月1日～9月30日
	死亡	1,621	1,555	▲66	
	自然増減…①	▲198	▲85	113	

出典：自然動態は愛知県人口動向調査（愛知県統計課）。

### 3. 社会動態

平成 28 年の社会動態は、転入者数が 6,619 人、転出者数が 5,907 人などとなり、838 人の増加となった。

平成 28 年の転入者数は、前年より 649 人増加した。

平成 28 年の転出者数は、前年より 351 人増加した。

		H 2 7 年	H 2 8 年	前年比	備考
社会動態	転入	5,970	6,619	649	10月1日～9月30日
	転出	5,556	5,907	351	
	その他増減	306	126	▲180	
	社会増減…②	720	838	118	

出典：愛知県人口動向調査（愛知県統計課）

自然増減①と社会増減②でみる平成 28 年の増加人口は 753 人となった。

	H 2 7 年	H 2 8 年	前年比	備考
増加人口…①+②	522	753	231	自然増減+社会増減

## 2 施策の取り組み状況

### 【基本目標 1】西尾市の特色を活かして、「雇用」を維持・拡大する

本市の産業競争力を強化することにより安定した雇用の場を確保・拡大するとともに、魅力ある職場づくり、女性の就業率の向上など、雇用環境の質の向上を図り、地域の経済力・消費力向上、雇用の充実につなげます。

#### <主な事業の平成 28 年度取組状況と今後の展望>

**【担い手経営安定推進事業】** 担い手の高齢化と後継者不足の問題を解決するため、新規就農者への支援を行った。また、農地利用の最適化と効率化を推進し、将来にわたって営農を可能とするため農地集積に協力した農地の出し手に協力金を交付した。新規就農者及び地域の中心となる経営体へ今後も引き続き支援を行う。

**【水産業振興補助事業】** アサリ資源の確保のため、アサリ稚貝採捕及び放流を行った。また、シラスウナギ資源の維持増大のため、親うなぎの放流を行った。本市の貴重な地域資源であるアサリ及びうなぎの減少は深刻な状況であり、資源回復のためにも引き続き事業を継続する。

**【ふるさと応援寄附金制度】** 西尾市へ寄附をされた方へ市の特産品を贈呈することで西尾市の特産品のPRを行った。寄附者は年々増えてきており、今後も地場産業の活性化のためより一層返礼品の充実や広告の強化等を図り事業を推進する。

**【工業系用地適地選定調査事業】** 企業からの用地ニーズに速やかに対応するため、市全域において製造業・運送業等の拠点となる工業系用地として適した土地を 20 地区選定し、地区カルテ、整備イメージ図、基本機構図を作成した。今後は、将来的なマスタープランの位置付け及び工業団地の造成計画の基礎資料として活用する。

**【企業立地支援のための補助金等交付事業】** 市外企業の誘致及び市内企業の流出防止のため、工場を立地する企業に対して、県と連携した補助金や市独自の奨励金の交付を行った。引き続き事業を継続し、企業の流出防止及び雇用の拡大を図る。

**【高齢者能力活用推進事業】** シルバー人材センターで就労を希望する高齢者に、その希望と能力に応じた就業機会の開拓及び提供の支援を行った。今後も引き続き支援を行っていく。

**【西尾市民げんきプラザ運営事業】** 平成 29 年 4 月の開設に向け、準備を実施。今後、ますます高齢化が進むことが予想されるため、健康寿命の延伸を目指し、市民の健康づくりに取り組む。

## 〈その他の事業〉

新商品開発支援事業、農業副都心整備事業、農業近代化資金利子補給事業、農業経営基盤強化資金利子補給事業、花き産地振興事業、定年帰農者支援対策事業、各種団体等補助事業、漁業近代化資金等利子補給事業、技術交流改善補助事業、梶島清掃管理事業、海外販路開拓事業、特産品振興事業、企業立地プロモーション事業、企業訪問による情報収集及び発信業務、企業戦略総合支援事業、県内外で開催される展示会への市内企業との共同出展事業、商店街空き店舗活用事業、セミナーの開催支援など新規に商店街への出店を推進、各種団体補助事業（まちなか賑わい創出事業）、ものづくり産官学金連携プロジェクト in 西尾、創業支援事業、おとなの職業体験、男女共同参画講座に関する学習機会の提供

## 政策目標指標

指標	基準値	実績値		目標値
	H27	(H28. 3. 31 時点)	(H29. 3. 31 時点)	H31
従業者数（H24 経済センサス）	77,675 人 (H24)	—	82,327 人 (H26)	77,675 人 (H32)

## K P I（重要業績評価指標）

指標	基準値	実績値		目標値
	H27	(H28. 3. 31 時点)	(H29. 3. 31 時点)	H31
特産品による新商品開発数（累計）	1 件（H27）	1 件	3 件	6 件（H31）
東京での物産展における西尾市の認知度	30%（H27）	31%	34%	35%（H31）
地域ブランド認定数（累計）	2 件（H27）	2 件	2 件	3 件（H31）
事業承継支援実績（累計）	1 件（H27）	1 件	1 件	13 件（H31）
創業支援事業に基づく創業者数（累計）	26 人（H26）	30 人	33 人	89 人（H30）

## 【基本目標2】 地域の魅力を磨き、「交流・にぎわい」を深化する

本市の自然・歴史・文化をはじめとする豊かな地域資源の魅力を多様な方法で情報発信し、市外から訪れたいと思ってもらえるまちを実現することにより、観光振興をはじめとする本市への人の流れをつくります。

### <主な事業の平成28年度取組状況と今後の展望>

**【塩づくり体験事業】**平成28年4月16日に西尾市塩田体験館としてリニューアルオープンし、年間で9,893人の来場者があり、その内本格的な塩田体験に665人、カセットコンロによる塩焼き体験に1,393人の参加者があった。全国的にもめずらしい施設であるため、観光客の他、学校関係にも利用促進を図る。

**【佐久島活性化事業】**佐久島来島者数は、平成27年度103,145人に対し平成28年度は106,210人と約3,000人の増となった。引き続き、島を美しくつくる会との協働により、アートを基軸とした島おこしを展開するため、佐久島の資源を活用しながら島の活性化や交流人口の増加を図る。

**【観光協会の法人化推進事業】**平成28年4月1日に一般社団法人として設立。今後、安定した自主運営ができるよう支援する。

**【Wi-Fi環境整備、「西尾おもてなし大学」による文化遺産の紹介ボランティア養成事業、体験・交流プログラムを組み入れた観光ルートの開発、観光行事開催事業、観光宣伝事業、西尾市観光協会補助事業】**市内5箇所にWi-Fiスポットを設置し、高速かつ柔軟なインターネットアクセス環境を整備した。また、「西尾おもてなし大学」による文化遺産の紹介ボランティアを養成し、体験・交流プログラムを組み入れた観光ツアーを行った。引き続き、観光機能を充実させ、本市の魅力を発信する。

**【竜の子街道プロジェクト、訪日外国人観光PR対策事業】**西尾市、碧南市、半田市、常滑市の4市が連携し、醸造・器・和の心が奏でる新たな観光ルート「竜の子街道」を造成し、国内観光客及び訪日外国人観光客の誘客を図った。今後は、より観光客の利便性を向上させるためにQRトランスレーター付看板等を整備していく。

### <その他の事業>

**観光施設等へのアクセス向上、一色マラソン大会、GOGO三河湾協議会事業、佐久島ラインガルテン指定管理、西尾駅西広場整備事業**

政策目標指標

指標	基準値	実績値		目標値
	H27	(H28. 3. 31 時点)	(H29. 3. 31 時点)	H31
交流人口（観光入込客数）（H24 愛知県観光レクリエーション利用者統計）	350 万人 (H24)	350 万人 (H27. 1. 1～ H27. 12. 31)	355 万 5 千人 (H28. 1. 1～ H28. 12. 31)	430 万人 (H31)

K P I（重要業績評価指標）

指標	基準値	実績値		目標値
	H27	(H28. 3. 31 時点)	(H29. 3. 31 時点)	H31
佐久島来訪者数（島民利用を除く市営渡船利用者数）	79, 200 人 (H26)	103, 145 人 (H27)	106, 210 人 (H28)	107, 000 人 (H31)
西尾駅乗降客数	9, 828 人/日 (H26)	10, 020 人/日 (H27)	10, 323 人/日 (H28)	10, 600 人/日 (H31)
観光用W i - F i 利用者（アクセスポイント）数	0 箇所 (H27)	0 箇所	40 箇所	150 箇所 (H31)
A R アプリのダウンロード数	0 件 (H27)	0 件	1, 622 件	20, 000 件 (H31)
外国人宿泊者（吉良温泉）	9, 027 人 (H26)	18, 979 人	11, 482 人	20, 000 人 (H31)
海外からの観光協会ホームページアクセス数（言語ベース）	18, 400 件 (H26)	45, 441 件	11, 883 件	50, 000 件 (H31)
QR トランスレーターのアクセス件数	0 (H27)	1, 134 件	1, 687 件	30, 000 件 (H31)
観光協会ホームページアクセス数	629, 054 件 (H26)	747, 011 件	711, 355 件	800, 000 件 (H31)

**【基本目標 3】 次代を担う世代を積極的に支援し、地域で「子ども」を育成する**  
急速な少子化と子育てに対するニーズの多様化の中で、若い世代が結婚や出産に希望をもち、子育てを楽しみ、安心して暮らせるまちづくりを目指します。また、男女を問わず子育てに参画し、男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境の実現を目指し、地域・事業者・行政が一体となって子どもの育成に取り組みます。

<主な事業の平成 28 年度取組状況と今後の展望>

**【結婚支援事業】**結婚を希望しながらも理想の異性にめぐり会っていない方々に結婚に対する正しい知識や教養、異性とのコミュニケーション能力などを習得する機会を提供するため、婚活セミナー及び交流会パーティを2回開催した。今後は、少しでも多くの方が参加できるようイベントの開催回数を増やしていく。

**【出産支援金交付事業】**出産支援金交付事業により、加入している医療保険にかかわらず、出産支援金を交付した。平成 28 年度の支給実績は 1,342 件で 52,185 千円、1 件当り 38,886 円を交付した。出産育児一時金の上乗せとして支給をしているが、市民にわかりにくい制度となっている。今後は、制度の見直しを行いより市民にわかりやすい制度にするため検討が必要である。

**【子ども医療費支給事業】**通院・入院とも 15 歳の年度末までの子どもの保護者に保険診療による医療費の自己負担分を支給した。今後も制度を継続する。

**【病児・病後児保育事業、保育の質の向上事業、低年齢児保育事業、延長保育事業、預かり保育事業、休日保育事業、一時保育事業、障がい児保育事業、児童発達支援センター事業、こども発達支援事業、保育園・幼稚園園庭芝生化事業、保育園・幼稚園施設建て替え・長寿命化対策事業】**西尾市子ども・子育て支援計画の施策「地域における乳幼児の子育て支援の推進」により、保育園・幼稚園等における教育・保育の充実を図った。今後も引き続き、西尾市子ども・子育て支援計画に基づき、保育園・幼稚園等における教育・保育の充実を図る。

**【AETの配置】**8名のAETを配置し、市内の小中学校・幼稚園を訪問し、コミュニケーション能力を養うとともに、英語表現に慣れ親しむ外国語活動を実施した。今後は、小学校 3、4 年生における外国語活動の導入に向けて、AETの増員を検討する。

**【図書館司書配置】**17名の学校司書を配置した。学校司書の配置により、学校司書、支所教諭、学校図書館担当者、担任等が連携し、学校図書館の充実を図っている。また、学校図書館ボランティアとも協力し、読書環境を整備している。今

後、学校司書を2校に1名配置できるよう、増員を検討していきたい。

**【特別支援学級】** 障害種ごとの少人数学級で、障害の状況等に応じたきめ細やかな配慮に基づいた特別な指導とあわせて特別支援教育に関する研修会を実施するなど、担当者の資質向上を図ってきた。また、特別支援教育補助者を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒の支援を実施した。今後も児童生徒一人一人の障害の状態等に応じた指導・支援を行うとともに、教職員の資質向上を図っていく。

**【地域子育て支援拠点事業、育児サークルの育成・支援、ファミリー・サポート・センター、児童虐待防止、要保護児童対策、育児困難家庭への支援、療育センター（ポップ教室）】** 子育てに様々な不安を抱える家庭やひとり親家庭などを含め全ての子どもと保護者に相談、仲間づくり、子育て関連情報の提供などの支援を行った。また、育児サークルの支援、ファミリー・サポート・センターの運営など、市民による自主的な子育て支援活動の促進に取り組んだ。引き続き様々な子育て支援に取り組みながら、子育て家庭の個別の状況を丁寧に捉えながらそれぞれのニーズに応じてサポートできる体制づくりを進め、地域における子育て支援の充実を図っていく。

**【育児支援家庭訪問事業、家庭児童相談、子育てガイドブックの発行、ひとり親家庭の自立支援】** 産後間もない時期や養育が困難な家庭に対し育児や家事の援助、相談、情報提供等を行い、養育上の諸問題の解決・軽減を図った。また、ひとり親家庭における暮らしの安全と自立を図るため、子育て・生活・就業などの支援に取り組んだ。今後も関係機関と連携して、引き続き現行の支援を継続し、生活の安定と経済的自立を支援する。

### 〈その他の事業〉

農家花嫁花婿対策事業、出産後の相談事業、不妊治療費助成事業、西尾市風しん抗体検査及び予防接種助成事業、母子健康診査事業（妊産婦・乳児健康診査）、こんにちは赤ちゃん訪問事業・妊産婦家庭訪問事業・乳幼児家庭訪問事業、妊婦相談（母子健康手帳交付）、歯科健診事業・フッ化物洗口事業、マタニティクラス、パパママ教室、健康・育児相談、休日診療所、図書館利用促進事業、私立幼稚園保育料等補助事業、保育園・幼稚園給食費無料化事業、第3子以降の保育料無料化事業、私立高等学校等授業料補助事業、男性の家事・育児などの家庭生活への参加奨励、男性の育児休暇取得の奨励、育休、産休制度の利用促進、放課後児童クラブ運営・充実、児童館運営事業、児童遊園・ちびっこ広場整備事業、少人数学級推進事業、小学校パソコン教室、日本語教室（日本語教育適応学級担当



教員の配置)、小中学校への通訳配置、外国人子どもプレスクール、小学校運動場芝生化事業、図書館利用促進事業、子育ての多世代交流事業、寺子屋にしお推進事業、家庭教育事業、健康教育事業

政策目標指標

指標	基準値	実績値		目標値
	H27	(H28. 3. 31 時点)	(H29. 3. 31 時点)	H31
年間出生数 (厚生労働省人口 動態調査 H26 年)	1,412 人 (H26)	1,346 人 (H27. 1. 1~ H27. 12. 31)	1,352 人 (H28. 1. 1~ H28. 12. 31)	1,316 人 (H31)
合計特殊出生率 (厚生労働省人口 動態調査 H22 年)	1.58 (H20~H24 平 均值)	1.56 (H26)	1.51 (H27)	1.64 (H31)

K P I (重要業績評価指標)

指標	基準値	実績値		目標値
	H27	(H28. 3. 31 時点)	(H29. 3. 31 時点)	H31
婚姻数	780 件 (H26)	766 件 (H27. 1. 1~ H27. 12. 31)	724 件 (H28. 1. 1~ H28. 12. 31)	820 件 (H31)
第 2 子以降の割合 (児童手当支給対 象児童)	51% (H26)	51%	51%	58% (H31)
ファミリー・サポ ート・センター会員数	888 人 (H26)	929 人	927 人	1,000 人 (H31)
地域子育て支援拠 点の利用者数	106,539 人 (H26)	95,353 人	111,097 人	111,100 人 (H31)

**【基本目標 4】 豊かな自然や文化に囲まれた快適な暮らしができる「まち」を形成する**

住み続けたい、住みたくなるまちづくりに向けて、誰もが自由に移動しやすい交通が確保されたまち、全ての人々が安全・安心して健康に暮らせるまち、豊かな自然や文化に囲まれた快適な暮らしを実現できるまちを目指し、人口の市外への転出抑制と移住・定住を促進する取り組みを進めます。

<主な事業の平成 28 年度取組状況と今後の展望>

**【地域公共交通運行事業、名鉄西尾・蒲郡線対策事業、バス対策事業、ふれんどバス運行事業】**路線バスなどへの欠損補助、ふれんどバス・コミュニティバス（六万石くるりんバス・いこまいかー）の運行など公共交通の維持に努めた。今後は西尾市地域公共交通計画に基づき、公共交通機関の利便性向上と利用促進を図り路線の維持に努めていく。

**【防災行政無線更新事業（同報系）】**本事業にかかる実施設計業務を行った。今後は、旧 3 町に整備されているアナログ方式の防災行政無線を順次デジタル方式に更新する。また、屋内の情報伝達手段として、既存のアナログ方式の防災ラジオ及び戸別受信機は継続利用できるよう整備するとともに、防災アプリやメール配信サービスを新たに導入する。

**【消防団・自主防災会等の組織支援】**平成 28 年 10 月 1 日に南海トラフ地震に備え、市域全体の地域防災力の整合を図ることを目的に西尾市機能別消防団を設置した。大規模な災害発生時に即応可能な組織を目指して、消防署の指導により訓練を積み重ね、さらに地域住民の防災意識を高めるため、自主防災訓練等の指導を実施し、地域防災力の充実に務めている。機能別消防団だけではなく、消防団も団員確保が年々困難になってきている。加入促進対策として、既に実施している「消防団応援の店」事業の充実・拡大、「消防団協力事業所表示制度」及び「消防団大学生等活動認証制度」の新設、消防団 PR の強化を実施していく。

**【市民と協働するまちづくり推進事業】**市民との対話の機会として、市の施策をわかりやすい言葉で情報発信する「市民協働ガイド」を実施。市民からの生の声を聴くことで市政への参画を図った。また、住民自治の観点からは、まちづくり活動への支援を行った。協働の推進については、協働の考え方や取り組みの動機づけに留まらず、校区コミュニティをはじめ、地域活動団体等が特性を発揮し、自立できる方向で協働を進め、企業など地域の多様な主体を巻き込んだ住民自治の基盤づくりに対し、引き続き支援を行っていく。

**【平坂東部土地区画整理事業、羽塚西土地区画整理事業、（仮称）寺保北土地区画整理事業、（仮称）国森土地区画整理事業、（仮称）西山土地区画整理事業、（仮称）上矢田西山土地区画整理事業、（仮称）寺津飛越狐塚土地区画整理事業、（仮称）上矢田北部土地区画整理事業】**土地区画整理事業について平坂東部と羽塚西土地区画整理組合の運営支援を行った。羽塚西地区には補助金等を交付した。また、設立に至っていない6地区については、地権者による発起人会に対して事業認可の支援をしており、国森地区は区画整理設計等委託業務他、西山地区は市街化編入協議書作成業務等を行った。今後は、平坂東部と羽塚西地区については、平成30年度の換地処分を目指すとともに、国森地区は、今年度の組合設立を予定しており、西山地区は今年度、区域の変更を行い、来年度に組合設立予定している。上矢田西山地区及び寺津飛越狐塚地区は、現況測量等調査事業に着手し、寺保北地区及び上矢田北部地区は、組合設立に向けて準備を進めている。

**【親子で楽しめる公園事業】**平成28年度末に岡ノ山遊ぼう茶広場として開園し、きらら橋も開通し第1期の事業が完了した。

**【シティ・プロモーション事業】**西尾市が有する豊かな自然環境や歴史・文化などの地域資源、子育てや定住に係る各種支援策を始めとする本市の魅力や都市イメージをまとめたPR冊子及びウェブサイトを作成しPRを行った。引き続き若い子育て世代をはじめとする住宅購入を検討している方へ周知するため住宅展示場や不動産業者を通じた情報発信や、イベント参加によるPRを行う。また、ウェブサイトには土地の情報などを掲載し、コンテンツを充実させ閲覧者の増加を図る。

#### 〈その他の事業〉

鉄道駅を中心としたにぎわいづくり事業、佐久島渡船運航事業、立地適正化計画策定事業、多文化共生のまちづくり、公共施設再配置推進事業、公共施設再配置第1次プロジェクト、住宅・建築物安全ストック形成事業、公営住宅等ストック総合改善事業、住宅浸水対策改修費等補助事業、Uターン希望者と市内企業とのマッチング支援、三世代同居対応住宅支援事業、佐久島への定住促進

政策目標指標

指標	基準値	実績値		目標値
	H27	(H28. 3. 31 時点)	(H29. 3. 31 時点)	H31
H27～H31 年の社会増 合計 (市町村別推計人口)	345 人 (H23～H26 平 均)	632 人 (H27. 1. 1～ H27. 12. 31)	538 人 (H28. 1. 1～ H28. 12. 31)	302 人 (H27～H31 平均)
住みやすさの評価・ 居住意向 (市政世論調 査で「住みよい」「どち らかといえば住みよい」 と回答された割合)	73.5% (H26)	-	70.2% (H28)	76% (H30)

指標	基準値	実績値		目標値
	H27	(H28. 3. 31 時点)	(H29. 3. 31 時点)	H31
名鉄西尾・蒲郡線年 間利用者数	3,173,073 人 (H26)	3,333,333 人 (H27)	3,358,502 人 (H28)	3,601,000 人 (H31)
六万石くるりんバ ス年間利用者数	112,504 人 (H26)	114,095 人 (H27)	115,557 人 (H28)	180,000 人 (H31)
いこまいか一年間 利用者数	1,183 人 (H26)	1,095 人 (H27)	1,155 人 (H27. 10～ H28. 9)	1,528 人 (H31)
ふれんどバス年間 利用者数	268,623 人 (H25. 10～ H26. 9)	270,867 人 (H26. 10～ H27. 9)	279,270 人 (H27. 10～ H28. 9)	280,000 人 (H31)
路線バス年間利用 者数	269,932 人 (H25. 10～ H26. 9)	283,705 人 (H26. 10～ H27. 9)	526,668 人 (H27. 10～ H28. 9)	527,000 人 (H31)
佐久島渡船年間利 用者数 (島民を含む)	95,300 人 (H26)	119,846 人 (H27)	127,825 人 (H28)	130,000 人 (H31)
一人当たり公園整 備率	4.6 m <sup>2</sup> /人 (H24)	4.6 m <sup>2</sup> /人 (H27)	4.7 m <sup>2</sup> /人 (H28)	5.25 m <sup>2</sup> /人 (H31)
市のホームページ (シティプロモー ション) アクセス数 (延べ)	0 件 (H26)	0 件 (H27)	6,376 件 (H28. 11～ H29. 3)	20,000 件 (H31)

### 3 地方創生加速化交付金実績一覧

事業名	事業概要	事業経費 (円)	事業経費内訳 (円)	指標	指標値	実績値 (29年3月末 時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
産官金連携によるものづくり 企業経営力強化サポート事業	包括協定を締結している5者（西尾市、西尾商工会議所、一色商工会、西尾みなみ商工会、西尾信用金庫）が一体となり、市内のものづくり企業の製品や技術等のポテンシャルの掘り起こしと販路開拓等の体制の構築を目的に、地域産業の競争力強化を図り「稼ぐ力」の向上を目指すため、スタートアップ事業として、以下の2事業を実施。 ①ものづくり企業経営力強化セミナー 生産管理や現場改善など現場ですぐに活用できる基礎的な内容から営業力・開発力強化など企業が抱える経営課題を取り上げ、ものづくり企業の経営力向上を目的としたセミナー（講座）を年4回開催する。 ②ものづくり企業展示会出展 セミナー参加企業を中心に展示会に共同出展し、製造業（現場）の魅力を発信するコンテンツにより「ものづくりのまち西尾」をPRするとともに、付加価値の創出を目指す企業の製品や技術等の新たな販路開拓を後押しする。	8,160,000	ものづくり企業経営力強化セミナー開催業務委託費 1,000,000 ものづくり企業ビジネスマッチング等支援業務委託費 7,160,000	取引先や提携先の開拓見込件数	5件	11件	【①ものづくり企業経営力強化セミナー】 市内のものづくり企業の経営者や役員、営業・生産部門等を担当する管理監督者・中堅社員等を対象にセミナーを年4回開催した。（延べ受講者数224名、延べ企業数149社） 第1回後継者育成・事業継承セミナー 第2回部下育成力強化セミナー 第3回改善力強化セミナー 第4回経営力強化セミナー 【②ものづくり企業展示会出展】 「ものづくりのまち西尾」の魅力をPRするための動画や冊子を作成するとともに、市内のものづくり企業5社と東京ビッグサイトで開催された展示会に共同出展し、販路開拓等の後押しを行った。	将来的な人口減少が懸念される中、少しでもそれを食い止めるためには、企業誘致施策とともに地域経済の厚みづくり及び雇用を支える企業の経営力強化が不可欠であり、市としてもサポートしていかねなければならないところである。 本事業実施後のアンケートにおいて、参加者の大勢が『満足している』と回答していることから、企業の経営力強化のためのスタートアップ事業として効果があったものと考えられる。	本事業は、新たな事業展開及び販路拡大並びに人材育成を含めた経営力強化のきっかけづくりとして有効な事業であり、中長期的な視点に立てば、地域経済に好影響を与え、安定した雇用の場を維持・拡大し、ひいては、市勢の発展につながるものと考えられる。 したがって、今後は、さらに企業の経営力強化につながるような事業を計画的かつ戦略的に実施していきたい。
西尾市事業創造・人財育成事業	市内企業を中心とした企業群、西尾信用金庫及び名古屋工業大学で形成する産官学金連携体制を構築し、新規事業展開を目指す次世代経営者層向けの人財育成プログラムを開設する。具体的な内容としては、市内を中心とした企業群から、次世代経営者に参画していただき、会社の競争戦略と事業戦略を立案しながら、経営者としての能力を育成する。次に市内の製造業者が有する課題や新規事業の可能性を見出し、異業種の複数の企業が連携して新事業創出に向け取り組む。	18,200,000	委託料 18,200,000 【内訳】 事業創造ツール開発に向けた最新知見の収集 2,500,000 人財育成事業の遂行に必要なスタッフシンポジウム開催費用 300,000 事例報告書作成費用 2,200,000 フォローアップ・雑費 2,000,000 育成講座スタッフ 5,000,000 事業管理事務スタッフ 1,200,000	事業創造人財育成プログラムの受講 各社が参画する連携組織の設立数（LLP法に基づく有限責任事業組合）	60名	59名	「産官学金」連携によるサポート事業として、市内を中核とした企業の次世代の後継者を育成し、稼ぐ力を獲得するために、名古屋工業大学の持つノウハウを活用し異業種間交流を行った。将来に向けて一企業単独ではできない「ものづくり」を共同開発するため、8月から2月まで毎月1回、計7回参加企業によるセミナーや3月に成果報告会を兼ねたシンポジウムを開催した。	異業種の複数の企業が連携して新事業を創り出すとなると単年では難しい。しかしながら、各企業とも今回の事業を通じて、自社の強み、弱みを客観的にみることができ、専門の教授によるアドバイスを受けることができた。また、異業種企業とのネットワークができ、今後の新事業創出の期待が持てる結果となった。	今後は、各企業が自己資金で、各企業の強みを活かし、名古屋工業大学のノウハウを活用し、新事業を展開していく予定
「醸造・器・和の心」が奏でる新たな観光ルート”竜の子街道”造成事業	西尾市、碧南市、半田市、常滑市の4市が連携し、共通の「醸造」を活かし、そこに「器」「和の心をもつ観光資源（酒蔵・味噌蔵・陶器・山車・抹茶など）」を融合させ、日本文化を疑似体験できるストーリーを構築し魅力ある観光資源を創り出すことで交流人口、観光客誘客を増加させ、地域活性化を図る。4市を囲むと、その形は「タツノオトシゴ」に似ており、国の薦める「昇龍道」に接していることで、「龍」の子の道「竜の子街道」として造成することで内外にインパクトを与えることができ、誘客を期待できる。 事業実施にあたっては、将来的な「地域連携DMO」への移行を視野に入れ、市、観光協会、大学、民間企業等と連携する協議会を設立し、DMOに類似した手法で新たな観光資源の開発、モニターツアー、動向調査、観光資源PRイベントなどの事業の効果を検証し、「醸造文化と日本文化を一度に体験できるエリア」としての観光地域づくりに取り組む。	61,000,000 (4市合計) 25,000,000 (内西尾市分)	負担金 61,000,000 【事業経費内訳】 竜の子街道プロジェクト委託業務 36,000,000 竜の子街道プロジェクト新商品開発業務 6,000,000 第7回全国醤油サミット事業（碧南市開催） 食と芸術の祭典ニシオンナレー（西尾市開催） 15,000,000	観光ツアー造成 新メニュー開発 モニターツアーによるアンケート調査 ニシオンレー誘客	1本 2品 100人	3本 4品 86人 10,200人	観光動向調査として、共通基準による観光地点調査3,000サンプル、観光地調査700サンプル、観光関連事業者を対象にした意向調査800サンプル、訪日外国人観光客動向調査1,270サンプル、台湾における観光意向調査201サンプルを実施し、調査結果を基に和食のルーツ「うま味」を探索する道 UMAMI ROAD をテーマに竜の子街道プロジェクト計画を策定。 多言語版観光情報誌、多言語対応プロモーション映像（日・英・簡・繁・韓）を作成。 モニターツアーを国内観光客対象2本、訪日外国人観光客対象1本を実施。 PR事業として、中部国際空港駅デジタルサイネージなど各種掲出及び首都圏と4市におけるイベント出展を実施。 食と芸術の祭典ニシオンナレーを平成29年2月11日から3月12日まで実施。	竜の子街道プロジェクトとして、多言語版観光情報誌、多言語対応プロモーション映像等を作成したことで、今後の国内及びインバウンド向けプロモーションの体制が構築できた。 竜の子街道プロジェクト新商品開発を通して、醸造業、飲食店など多くの事業者が参加できたことで、関連事業者の認知度が高くなり、今後の事業者主導による様々な取組が期待できる。 また、三河と知多の地域をまたいだ連携を構築できたことで、常滑焼と西尾の抹茶といった新たな組み合わせによるプロモーションが可能となった。	今後は「醸造文化と食文化」の発信、「まちなか街道」の魅力向上、「まつり文化」の来訪促進の3つをテーマにして竜の子街道エリア内を回遊してもらうための観光ツアーを造成し、国内外へのプロモーションを行って来訪促進を図っていく。また、醸造品や特産品を活用した飲食やお土産を充実させ竜の子街道ブランドの魅力づくりと認知促進させることと併せて、竜の子街道HPの多言語版コンテンツの充実や外国人受入れの環境向上に向けたマニュアルの整備などおもてなしの環境整備による満足度向上を図る。

## 4 総合戦略の改訂

(1) K P I (重要業績評価指標) の目標値の見直しを行うもの

基本 目標	K P I	H31 目標値	
		修正前	修正後
1	特産品による新商品開発数 (累計) 【基準値 (H27) 1 件】 [実績値 (H29) 3 件]	3 件	6 件
2	西尾駅乗降客数 【基準値 (H26) 9,828 人/日】 [実績値 (H28) 10,323 人/日]	10,300 人/日	10,600 人/日
3	地域子育て支援拠点の利用者数 【基準値 (H26) 106,539 人】 [実績値 (H28) 111,097 人]	107,000 人	111,100 人
4	ふれんどバス年間利用者数 【基準値 (H25.10~H26.9) 268,623 人】 [実績値 (H27.10~H28.9) 279,270 人]	270,000 人	280,000 人
4	路線バス年間利用者数 【基準値 (H25.10~H26.9) 269,932 人】 [実績値 (H27.10~H28.9) 526,668 人]	443,000 人	527,000 人(※)
4	佐久島渡船年間利用者数 (島民を含む) 【基準値 (H26) 95,300 人】 [実績値 (H28) 127,825 人]	124,000 人	130,000 人

※総合戦略策定時は、補助対象路線 (平坂中畑線、寺津線、一色線、岡崎西尾線〈三和経由〉) のみを集計していたが、H28 年 6 月の地域公共交通計画の改正に伴い、補助対象路線ではない岡崎西尾線〈室場経由〉を含んで集計。

(2) 文章（語句）の見直しを行うもの（区分：旧は原案、新は修正案、追は追加事業）

基本 目標	施策番号	区 分	修正内容	該 当 ページ	
1	1 特色ある農業・畜産業・水産業の振興	旧	【主な事業】企業誘致課 農業副都心整備事業 地域及び特産品ともに、まだまだ知名度が低く、潜在力を活かしきれていないため、福地南部地域への「憩の農園」の移転新築をはじめ、農畜水産物直売所、飲食・特産品販売施設及び観光案内施設の整備を推進し、6次産業化による「食」を積極的に発信する。	8	
		新	【主な事業】企業誘致課 福地南部地域の活性化 「憩の農園」を中心とした福地南部地域の活性化を図るため、農畜水産物直売所、飲食施設、観光案内施設、6次産業化関連施設等の整備を推進する。 [文言等の修正]		
	3 企業・事業所の誘致・継続支援		旧	【現状と課題】 ◆経済活動のグローバル化が進む中で、本市の雇用維持、経済の活性化を図るためには、既存企業の活性化だけでなく、新たな企業・事業所の誘致も必要です。	10
			新	◆本市の主要産業である自動車産業は電気自動車など次世代自動車の普及により今後大きな転換期を迎えようとしています。また、IoT、AIなどの技術革新や経済活動のグローバル化が進む中で、本市の雇用維持、経済の活性化を図るためには、既存企業の活性化だけでなく、次世代産業を含む企業・事業所の誘致も必要です。 [文言等の修正]	
			旧	【施策の内容】 ◆市外企業の誘致と市内企業の流出防止のため、工業等適地の選定をはじめとする対策を進めます。	
			新	【施策の内容】 ◆新たな工業用地の計画的な整備を行い、市外企業の誘致と市内企業の流出防止を図ります。 [文言等の修正]	
			旧	【主な事業】企業誘致課 企業立地プロモーション事業 市内の主要企業及び市外の立地意向の可能性のある企業を対象としたセミナーを開催し、本市の産業ポテンシャルや企業立地支援制度について紹介するなど、市長自らトップセールスを行う。	

基本 目標	施策番号	区 分	修正内容	該 当 ページ
1	3 企業・事業所の誘致・継続支援	新	<p>【主な事業】企業誘致課 企業立地プロモーション事業 <u>地域経済の厚みづくり、地域に根ざした企業を増やすことを目的に市内外の製造業等の企業関係者を対象に「ものづくりのまち西尾」の魅力をトップセールスで情報発信するとともに“気づき”や“稼ぐ力”のきっかけを提供するためのセミナー等を開催する。</u> [文言等の修正]</p>	10
		旧	<p>【主な事業】企業誘致課 企業立地支援のための補助金等交付事業 市外企業の誘致と市内企業の流出防止のため、<u>工場等の立地又は設備投資をする企業に対し、固定資産税等の相当額にあたる奨励金の交付を行う。また、県と連携し、市内企業の再投資に係る事業に対し、補助金の交付を行う。</u></p>	
		新	<p>【主な事業】企業誘致課 企業立地支援のための補助金等交付事業 市外企業の誘致、<u>市内企業の流出防止及び市勢の発展に寄与することを目的に、市内に工場等の新增設を行った企業に対して、愛知県と連携した補助金及び市独自で奨励金を交付する。</u> [文言等の修正]</p>	
	4 取引先・連携先の開拓支援	旧	<p>【施策の内容】 ◆<u>西尾市の企業を紹介するパンフレットの作成、各地で開催される展示会等への出展など、市内の企業について広く情報発信を行い、さらに認知度を高めることにより、取引先や事業提携先の開拓など企業の競争力強化を支援します。</u></p>	11
		新	<p>【施策の内容】 ◆<u>県内有数のものづくりの集積地である「ものづくりのまち西尾」の知名度の向上と地域産業を支える市内の中小企業等の経営力の強化を図る取り組みを戦略的に実施します。</u> [文言等の修正]</p>	



基本 目標	施策番号	区 分	修正内容	該 当 ページ			
1	4 取引先・連携先の開拓支援	旧	<p>【主な事業】企業誘致課 企業戦略総合支援事業 ・企業情報収集・発信強化事業</p> <p><u>愛知県内、東京圏、大阪圏の企業に対して、本市への工場立地意向や販路開拓意向等のアンケート調査を行うとともに、企業用地や企業立地支援制度、展示会への招待等について情報発信を行う。</u></p>	11			
		新	<p>【主な事業】企業誘致課 企業戦略総合支援事業 ・企業情報収集・発信強化事業</p> <p><u>積極的に誘致を図るべき産業分野に関連する県内外の企業に対して「ものづくりのまち西尾」の魅力を情報発信するとともに西尾市への立地意向や販路拡大の関心度等のアンケート調査を実施する。</u></p> <p>[文言等の修正]</p>				
		旧	<p>【主な事業】企業誘致課</p> <p>県内外で開催される展示会への市内企業との共同出展事業</p> <p><u>県内外で開催される展示会に出展し、トップセールスを行うとともに、企業用地や企業立地支援制度等について広く情報発信を行う。また、市内企業と共同出展することにより、企業の販路拡大や営業力強化の支援も同時に行う。</u></p>				
		新	<p>【主な事業】企業誘致課</p> <p>県内外で開催される展示会への市内企業との共同出展事業</p> <p><u>県内外で開催される大規模展示会に市内のものづくり企業と共同出展し、販路拡大等の後押しをするとともにトップセールスを行い「ものづくりのまち西尾」の知名度の向上を図る。</u></p> <p>[文言等の修正]</p>				
		6	新たな産業の誘致・育成		旧	<p>【主な事業】商工観光課 創業支援事業 ・創業カフェを開催し、女性や高齢者、若者などやんわり（ぼんやり）創業を考えている方の自由討論の場を提供する。</p>	13
					新	<p>【主な事業】商工観光課 創業支援事業 ・女性や若者などやんわり創業を考えている方のために、プチセミナーを開催する。</p> <p>[文言等の修正]</p>	

基本 目標	施策番号	区 分	修正内容	該 当 ページ
2	8 他地域との交流促進	旧	【主な事業】文化振興課 塩づくり体験事業 平成28年度より新たにオープンする西尾市塩田体験館にて塩づくり体験を実施する。三河湾沿岸部の主要産業であった塩田による製塩業の技術や歴史を紹介することで、新たな観光客の誘客を図る。	16
		新	【主な事業】文化振興課 西尾市塩田体験館 平成28年にオープンした西尾市塩田体験館は、地元の塩田保存会会員の指導を受けて本格的な復元塩田で製塩体験ができる全国でもめずらしい施設。かつて三河湾沿岸部で盛んであった製塩業の技術や歴史を紹介することで、新たな観光客の誘致を図る。 〔事業の進捗に伴う内容の更新〕	
		追	【主な事業】佐久島振興課 「島おこしのNEXTステージ」プロジェクト ①佐久島ラインガルテンにある農園を活用し新たな特産物の栽培を行い、島の特産品開発を行う。また、栽培から収穫までを体験する農業体験ツアーを構築し、島ならではの体験を通して、定住促進へ結びつける。 ②島のお年寄りと若い世代が協力し、島食材を活かした新メニューを開発する。また、マルシェ（市）を開催し、特産品や新メニュー特産品を販売することで島の活性化を図る。	
	9 交流機能の整備	旧	【主な事業】 西尾駅西広場整備事業 <u>企業誘致課・都市計画課／西尾信用金庫</u>	18
		新	【主な事業】 西尾駅西広場整備事業 都市計画課 〔担当課の修正〕	
3	16 子育て世帯の経済的負担の軽減	旧	【主な事業】子ども課 私立幼稚園保育料等補助事業 私立幼稚園の保育料等の一部を負担し、市立・民間の保育料の格差是正と子育て経費の軽減を図るための補助をする。	26
		新	【主な事業】子ども課 私立幼稚園保育料等補助事業 私立幼稚園の保育料等の一部を負担し、市立・民間の保育料の格差是正と子育て経費の削減を図る。 〔文言等の修正〕	

基本 目標	施策番号	区 分	修正内容	該 当 ページ
3	17 保育環境の充実	旧	<p>【主な事業】子ども課 病児・病後児保育事業</p> <p>子どもが病気又は病気の回復期にあり、保護者が家庭で保育を行うことができない場合、一時的に施設で保育を実施する。<u>現行の病後児に加えて、病児保育を新たに実施する。</u></p>	27
		新	<p>【主な事業】子ども課 病児・病後児保育事業</p> <p>子どもが病気又は病気の回復期にあり、保護者が家庭で保育を行うことができない場合、一時的に施設で保育を実施する。</p> <p>[事業の進捗に伴う内容の更新]</p>	
		旧	<p>【主な事業】子ども課 低年齢児保育事業</p> <p><u>働き続ける女性の増加を背景に、0～2歳児の保育の充実を図る。</u></p>	
		新	<p>【主な事業】子ども課 低年齢児保育事業</p> <p><u>働く女性の増加を背景に、0～2歳児の保育の充実を図る。</u></p> <p>[文言等の修正]</p>	
		旧	<p>【主な事業】子ども課 延長保育事業</p> <p><u>延長保育ニーズに応えるため、11時間を超える延長保育を実施する。</u></p>	
		新	<p>【主な事業】子ども課 長時間保育事業</p> <p><u>長時間保育ニーズに応えるため、11時間を超える長時間保育を実施する。</u></p> <p>[文言等の修正]</p>	

基本 目標	施策番号	区 分	修正内容	該 当 ページ
3	21 交通利便性の向上	旧	【主な事業】 鉄道駅を中心としたにぎわいづくり事業 地域支援協働課・公園緑地課・ <u>企業誘致課</u> ・商工観光課	33
		新	【主な事業】 鉄道駅を中心としたにぎわいづくり事業 地域支援協働課・公園緑地課・ <u>都市計画課</u> ・商工観光課 [担当課の修正]	
4	22 安全・安心で楽しめる居住環境の整備	旧	【現状と課題】 ◆南海トラフ <u>巨大地震</u> の危険性が高まっており、・・・	34
		新	【現状と課題】 ◆南海トラフ地震の危険性が高まっており、・・・ [文言等の修正]	
		旧	【主な事業】 <u>消防本部総務課</u> ・ <u>危機管理課</u> <u>消防団、自主防災会等の組織支援</u> <u>地域の実情に即した防災力及び消防力の強化のための組織支援を行う。</u>	
		新	【主な事業】 <u>消防本部総務課</u> <u>消防団活動事業</u> <u>消防団を充実させることにより、地域防災力の強化を図る。</u> 【主な事業】 <u>危機管理課</u> <u>自主防災組織支援事業</u> <u>地域の実情に即した防災訓練の実施及び防災資機材の整備を促進し、地域の防災力強化のための組織支援を行う。</u> [担当課の修正及び文言等の修正]	